



新 JAPAN PROJECT

徳島空港スタッフ「阿波藍」ブラウスを着用

～徳島空港スタッフが阿波藍製品を期間限定にて着用しお客さまへのPRを実施～

2017年5月31日

JALグループは、地域と共に「地方の元気」を創る「JAL 新・JAPAN PROJECT」の一環として、2016年8月に徳島県と包括連携協定を結びました。^(※)

※弊社プレスリリース『JAL X 徳島県 包括連携協定を締結(2016年8月5日)』参照。

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201608/002752.html>



その一環として「阿波藍」のPRを実施します。徳島県(阿波国)で行なわれる藍染め、またその材料となるタデアイ(アイ)や、すくも(藍玉)を県が応援する藍産業復興を当社がお手伝いすることで、社会性を高め、地域貢献に繋げようという取り組みです。既に第1弾として、2016年11月に羽田空港にて藍染ファッションショーを実施しており、今回はその第2弾となります。

2017年6月1日から9月30日までの間、徳島空港スタッフが藍染ブラウスを着用し、到着・出発のお客さまをお出迎え、お見送りします。今回のブラウスはJALの制服デザインを手掛けていただいた丸山敬太氏によるデザイン・監修の基に制作したものです。

JALグループは「阿波藍」をはじめ、徳島の産業振興のお役に立てるようさまざまな取り組みにチャレンジしてまいります。



丸山 敬太 氏 (KEITA MARUYAMA)

文化服装学院卒業。1994年に東京コレクションデビュー。世界の舞台でもコレクションを発表。「晴れの日に着る服・心を満たす服」をコンセプトに、新たなモードエレガントを提案。その他、ミュージシャン、俳優、舞台の衣装制作をはじめ、ブランドやイベントのディレクションなど、広い分野で活躍。2013年日本航空(JALグループ)客室乗務員・地上接客部門の制服デザインを行う。